

専門〈動物飼育員〉

- (1) ビタミンに関する記述について、文中の空欄に入る語句の組合せとして、正しいものはどれか。

ビタミンは、水溶性と脂溶性に大別されるが、ア性ビタミンは一般的に自由に吸収され、容易に尿中に排泄されるが、イ性ビタミンは臓器に貯蔵されるので、大量に摂取すると過剰症が発現する。また、ビタミンが欠乏すると様々な症状が発現するが、くる病や骨軟化症はビタミンウの欠乏によって、血液凝固不全はビタミンエの欠乏によって起きる疾患である。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|----|----|----|---|---|
| 1. | 水溶 | 脂溶 | A | E |
| 2. | 水溶 | 脂溶 | D | K |
| 3. | 水溶 | 脂溶 | K | D |
| 4. | 脂溶 | 水溶 | D | A |
| 5. | 脂溶 | 水溶 | E | K |

(正答 2)

(2) 遺伝的管理に関する次のA～Dの記述の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。

- A. 動物園のサル山の群における繁殖は、人間の作為は入っておらず、サル達の自由意志に任されているため、無作為交配であるといえる。
- B. 希少動物の繁殖においてブリーディング・ローンという繁殖個体の貸し借りが行われているのは、近親交配による近交弱勢を防ぐためである。
- C. 近親交配の程度は、ある個体がもっている1組の相同遺伝子が、共通の祖先に由来する同じ遺伝子がホモ接合になる確率である近交係数で示される。
- D. 飼育個体群の保持している有害遺伝子を排除するためには適度な近親交配が効果的である。

	A.	B.	C.	D.
1.	正	正	誤	誤
2.	正	誤	正	誤
3.	誤	正	正	誤
4.	誤	正	誤	正
5.	誤	誤	正	正

(正答 3)